

「いっさき」とは地元
のことばで「伊勢崎」
のことです。

伊勢崎市史編さんだより 第1号

いっさき古今東西

令和7年(2025)1月

編集発行 伊勢崎市教育委員会

図書館課市史編さん係

〒372-0055 伊勢崎市曲輪町 22-21

TEL 0270-23-2346

Eメール toshokan@city.isesaki.lg.jp

新しい伊勢崎市史を編さんするため、令和4年度に市史編さん係を図書館課に設置しました。令和5年度には伊勢崎市史の目指す姿や刊行計画を定めた「基本計画」を策定し、伊勢崎市史編さん事業が本格的にスタートしました。

平成17年1月の合併で市域が広がり、合併前の各市町村史が刊行されてから20年以上が経過しています。市域全体の歴史・民俗・自然の各分野について新たに調査を行い、最新の成果をまとめた市史を刊行します。



市民と紡ぐ新たなまちへの道標（みちしるべ）

伊勢崎市史編さん専門委員会 委員長 前澤和之

伊勢崎市域の景観や市民の暮らしぶりは、ここしばらくの間に大きな変化を見せましたが、その勢いは今も続いています。それに応じるように、様々な立場の市民が共生する活気あるまちづくり、持続可能な地域づくりが強く望まれようになりました。そのためには自然や風土、歴史や暮らしの中で育まれてきた知恵を明らかにし、学んでいくことが大きな力となります。

今回の市史の編さんでは、それぞれの分野の専門家が市民と協働して、歴史を顧みるとともに、新たな成果と視点を加えて詳しく記録し、分かりやすく使い易い形で伝え、新たなまちづくりの道標として次の世代に引き継ぐ、そうした心掛けをもって取り組んでいきます。



調査研究を行う部会を紹介します

編さん委員会

専門委員会

原始古代

中世

近世

近現代

民俗

自然

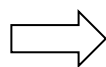
伊勢崎市史を編さんするため、2つの委員会と6つの調査研究を行う部会ができました。

「編さん委員会」は、市史編さんに関する諮問機関です。「専門委員会」は、市史編さんに関する調査研究と本の執筆を行います。

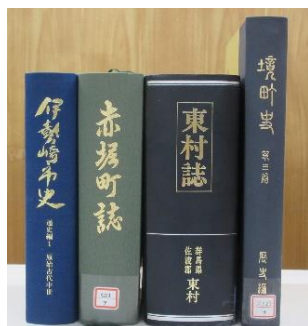
調査研究をする専門部会には①原始古代②中世③近世④近現代⑤民俗⑥自然の6つの部会があります。各部会の調査研究が進むにつれてどんな新しい発見があるか、今から楽しみます。

伊勢崎市史基本計画と刊行予定

旧市町村史



新しい市史の名前が決まりました



『新伊勢崎市史』



令和 7 年度に 1 冊目となる「伊勢崎の埴輪」をテーマとした特別編を刊行し、令和 17 年度までの 11 年間に 20 冊の刊行物の発行を予定しています。

新しい伊勢崎市史では、平成 17 年 1 月に合併して広がった市内全域についての特徴を生かし、次世代に持続可能な地域づくりを引き継ぐための道しるべとなるような市史を目指していきます。

どんな市史が
できるの？

市史は大きく分けて 3 つの種類の本を刊行します。

- ①通史編 原始古代から現代にいたるまでの伊勢崎市の歴史を年代順につづります。
 - ②資料編 伊勢崎市の歴史を語る上で重要な資料をまとめます。
 - ③特別編 「これぞ伊勢崎！」という、伊勢崎市の特色をテーマにします。
- これらの外にも、調査成果をまとめた調査報告書も出す予定です。

《市史編さんの 3 つの方針》

市史を刊行するため、3 つの方針を基に調査研究を行っていきます。

- ① 各時代、各地域の人々の営みと豊かな自然環境とが一体となって形づくられた伊勢崎の風土を明らかにします。
- ② 自然災害をはじめとするさまざまな災害から貴重な歴史資料を守るため、資料の調査と収集を進め、そのデータベース化を実施します。
- ③ 今後の地域づくりを進める上で求められる共生社会の実現に向けた取り組みに寄与するため、先人たちが暮らしの中で育んできた文化を明らかにし、次世代へ伝えます。



〔概念図〕

部会の調査活動スタート！

令和6年度から各部会の調査研究活動が本格的にスタートしました。月1回～2回部会を開催し、調査活動を行っています。市内各所にお邪魔し、伊勢崎の地域性を探っていきます。

調査に伺う前には、市史編さん係から区長さんや所有者の方に調査のお願いをしています。調査の成果は、これからシンポジウムの開催や展示、市史編さんだよりなどで発信していきます。

地域の皆さん、調査研究活動にご協力をお願いします。



原始古代部会



中世部会



近世部会



近現代部会



民俗部会



自然部会

シンポジウムを開催しました

令和6年3月23日（土）に第1回伊勢崎市史編さんシンポジウム『わたしたちが紡ぐ伊勢崎市史—はじめの一步を語ろう—』を開催しました。

＜第1部：

前澤和之専門委員長による
記念講演会
「八角形正倉が語る古代史」

第2部：▷

四ツ葉学園地域歴史研究会
「高校生が伝える伊勢崎銘仙の歴史と魅力」





◁第3部：市内在住出身の高校生・大学生と専門委員会部会長とのトークセッション「知りたい、聞きたい、語りたい、伊勢崎の歴史と暮らし」

第3部では高校生や大学生からの鋭い質問に、部会長たちも真剣な面持ちで舌戦を繰り広げました。登壇者の皆さんの伊勢崎に対する熱い想いを感じる1日でした。

伊勢崎市の古い資料や写真を集めています

新しい市史を編さんするため、伊勢崎市に関する資料（古い写真・地図、古文書など）を収集しています。伊勢崎市の歴史を語る資料は、実は市民の皆さんの身近なところに眠っています。ホコリをかぶった古いものでも伊勢崎市の歴史を語る大切な資料かもしれません。捨ててしまう前にまずは市史編さん係までご連絡ください。

【集めているもの】

- 1 古文書 くずし字で和紙に書かれた帳面、一枚物の文書
- 2 古い本 和紙に書かれた冊子など
- 3 明治・大正・昭和の帳面、帳簿、ノート（日記・手紙）など
- 4 伊勢崎市域の古い写真、地図や絵図などの図面類、絵画
- 5 古いふすまや屏風（古文書が下貼りに使われていることがあります）



市史編さんコラム

いせさきを識る

第1回 原始古代部会長 右島和夫



新たにスタートを切った伊勢崎市史。
このコーナーでは各部会の部会長が、自身の専門分野について、見たまま感じたままを自由に語っていただきます。第1回は原始古代部会長の右島和夫さんです。



本年10月16日から12月8日まで東京国立博物館を会場に開催された特別展「はにわ！」は、全国各地の著名な埴輪が勢揃いしたこともあり、大注目されました。

それら数多くの埴輪の中で、とりわけ中心の位置を占め、異彩を放っていたのが群馬県出土の埴輪の数々です。その中には、私たちが住む伊勢崎市の古墳から出土した埴輪も多く並んでいました。古墳時代の「いせさき」さらには「ぐんま」が、全国的に見ても活発に展開していた地域であったことをよく物語っています。